

## 7<sup>th</sup> International Workshop on Advanced Plasma Processing Diagnostics & Thin Film Technology for Electronic Materials 派遣報告

名古屋大学 工学研究科 電子情報システム専攻  
ムン チャンソン

次世代エネルギー産業開発のためのプラズマ薄膜及び診断技術に関する第7回韓国-日本国際ワークショップは韓国、成均館大学と日本、名古屋大学を中心にした国際ワークショップである。今回の国際ワークショップは新しい分野の先進研究結果にたくさん接することができたいい機会だった。各国のプラズマに関する研究者たちの発表で構成されて、自分が研究している分野だけでなく多様なプラズマに関する技術に接して勉強することができるいい機会だと思う。特に、学生たちにおいては直接英語口頭発表をし、直接質問を受けることで、英語発表に対する恐ろしさを無くして自分が思うことのできなかつた問題を指摘されることで、この度の研究を進行するのにあたって経験が豊かな研究者たちの助言も聞くことができる。今度ワークショップを通じて今までよく分からなかつた次世代エネルギー開発のためのプラズマ技術の応用分野を学ぶことができた。太陽電池及び燃料電池開発におけるプラズマの大切さをもう一

度認識することができたいい機会だったし、それ以外にも多様な応用のためのプラズマ薄膜合成技術及び診断技術に関する発表を聞いて多くの勉強になった。特に、私の場合は直接に口頭発表をすることで自分の研究結果を知らせるいい機会を持った。たとえ、10分間という短い時間に発表をして質問を受けたが本人の英語発表能力が少しずつ向上することを感じることができた。また、多様な質問を受けることで今後研究を進行するのに大いに役立った。この度のワークショップだけでなく、今後はヨーロッパやアメリカのようなプラズマ研究が活発に進行されている大学と活発な討論ができるワークショップも、学生には世界の研究を経験することができると思う。規模は国際学会のように大きくないが、十分な討論が成り立つことができるという長所を持っているし、また、その国の文化に対してもっと多くの経験が可能で、相手の国に対する親しさをよりもつことができるいい主旨のワークショップだったと思う。